

ビート・コア・ウォーキング
(1月)

●日時 1月5日(火)、12日(火) 午後7時～(準備運動を含め約1時間程度)

●場所 運動公園内元気ロード

●対象 どなたでも

●参加費 無料

【問】2030あらかし有明優都戦略ライフステージ部会事務局
社会教育課 ☎63・1681、
保健センター ☎63・1133

地域子育て支援拠点事業
(1月分)

【こじかクラブ

☎68・0055】

●日時および内容

- ①6日(水) 親子ダンス
 - ②13日(水) 親子リトミック
 - ③20日(水) 親子ダンス
 - ④27日(水) 親子体操
- 午前10時～午後3時

●場所 桜山保育園

※火・木曜日、25日(月)は自由活動日

【なかよしひろば

☎62・0749】

●日時および内容

- ①14日(木) ソフトエアロビ
 - ②21日(木) リズム遊び
 - ③28日(木) 親子体操
- 午前10時～午後3時

●場所 なかよし保育園

※月・火曜日、7日(木)、13日(水)は自由活動日

【カンガルーポケット

☎65・8655】

●日時および内容

- ①12日(火) カード遊び
 - ②19日(火) 体育遊び
 - ③26日(火) 音楽遊び
 - ④27日(水) 英語遊び
- 午前10時～午後3時

●場所 カンガルーハウス

※水・木曜日、8日(金)は自由活動日

★いずれも参加費無料

★各ひろばは月々金、園庭開放・電話相談を行っています。
★土・日曜、祝日は休園です。

特定疾患治療研究事業の対象疾患が追加され、医療費の助成が受けられます

県の認定を受けた人は対象疾患にかかる医療費の全部、

または一部の助成を受けることができます。詳しくは、お問い合わせください。

●新たに追加される11疾患

・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)・脊髄性筋萎縮症・球脊髄性筋萎縮症・慢性炎症性脱髄性多発神経炎・肥大型心筋症・拘束型心筋症・ミトコンドリア病・リンパ脈管筋腫症(LAM)・重症多形滲出性紅斑(急性期)・黄色靱帯骨化症・間脳下垂体機能障害(プロラクチン分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)

●医療費助成の開始日 申請書の受理日から

※ただし、10月1日までに確定診断を受けている人が、12月31日までに申請された場合、10月1日に遡って適用になります。

【問】県健康福祉部健康づくり推進課 ☎096・333・2210
有明保健所 ☎72・2184

あらかしお親子わくわくプラン(荒尾市次世代育成支援行動計画)

平成20年度
事業報告

荒尾市では、平成17年3月に次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、その保護者の子育てを支援するためのさまざまな取り組みをまとめた「あらかしお親子わくわくプラン」(荒尾市次世代育成支援行動計画)を策定し、その事業実績を毎年公表しています。

本計画の平成20年度における取り組みについては、市ホームページをご覧ください。

本計画は平成17年度から26年度までの10年間の期間のうち、平成21年度までの5年間は前期、平成26年度までの5年間は後期に分けて取り組んでいます。

前期計画は来年に終了することから、現在各取り組みにおける内容の見直しを行って、来年3月に後期計画を策定いたします。

そこで後期計画における皆様のご意見を募集します。次世代を担う子どもたちと、その保護者の育成支援を定める大切な計画です。さまざまなご意見をお待ちしています。

●期間 12月15日(火)から平成22年1月29日(金)まで

●方法 市ホームページまたは以下の場所に計画原案を設置しています。

市役所総合窓口、福祉課窓口、市内各保育園・幼稚園、保健センター

所定の様式にご記入のうえ、各設置場所へ持参・郵送・FAX・メールでご提出ください。

頂いたご意見は、有識者で構成される市次世代育成支援行動計画委員会で検討を行い、来年4月頃に市ホームページと広報にて公表します。

[提出先・問] 福祉課 ☎63-1417、FAX 62-2881、メールアドレス fukusi@city.arao.lg.jp

後期計画に
おける
皆様のご
意見を募集
します!

荒尾市民病院 からのお知らせ

放射線治療は、がん治療の三本柱である手術療法・化学療法・放射線療法の一つです。放射線治療とは、高いエネルギーの放射線ががん細胞に照射することで、がん細胞を死滅させる治療方法です。特徴は治療時に痛みなどがなく患者さんの肉体的負担が少なく、しかも治療する臓器の形態や機能が温存される優れた治療法です。治療はコンピュータを使いできるだけがんの

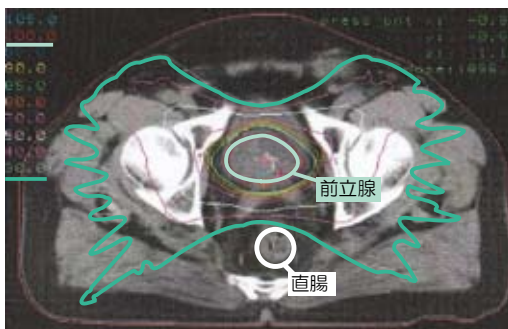
市民を愛する
市民に愛される 病院へ

部位に放射線を集中させ周囲の正常な組織には放射線が当たらないように精密に治療の計画を立てます。症例によっては手術をしなくてもがんを治す事が可能です。最近では先月号で紹介した化学療法と併用することで、さらに治療効果が高くなっています。通院治療も可能で放射線治療適応患者さんは、今後ますます増加することが予想されています。

副放射線技師長・放射線治療認定技師 堺 峰崇



放射線治療装置 MEVATORON M2/6740



治療計画装置により作成された体内に照射される放射線量の分布図。前立腺へは100%（内側一色）直腸へは30%以下（外側二色）の放射線量領域であることが分かります。

当院が取り組んでいるがん治療について3回シリーズでお知らせしています。第3回の今回は「放射線治療」についてです。

切らずに負担を軽く

「トリアージ訓練」

11月15日（日）に荒尾市防災訓練にのっとり、当院でも「救護所（トリアージ）の運営訓練」が行われました。

トリアージとは、すべての救急患者に対応する初期診断を救急医療の専門のドクターが行い、入院が必要な患者さんはそれぞれの担当科に振り分け、円滑な救急患者さんの受け入れと、より専門的治療の充実を図ることです。

早朝から始まった訓練では、模擬患者となった有明高校看護科の生徒の皆さんによる迫真の演技で訓練に取り組むことができ、一層緊張感を持って行うことができました。

今回の訓練の結果明らかになったさまざまな課題を整理し、実際の災害に備えて万全の体制を整えます。

診療をしながらの患者搬送
迅速な判断が求められます



外来ロビーは多くの患者で混雑し、間違えないよう確実な
伝達が求められます



循環器内科からのお知らせ



- テーマ 高血圧について
心臓病と上手く付き合う方法
- 講師 梶原 一郎 医師
- 日時 12月25日（金）
午後3時～4時
- 場所 地域医療研修センター
（市民病院玄関入って4階）

【問】 ☎ 63-1115（内線）511
総務課庶務企画係

糖尿病とフットケア

—11月14日は世界糖尿病デーでした—

当院は県内で糖尿病教育施設に認定されており、さまざまな方面から糖尿病の患者さんをサポートします。11月14日には当院の建物に特大の啓発垂幕を掲げました。

糖尿病の治療に有効なひとつの手段にフットケア（足の手入れ）があります。フットケアを行うことは、糖尿病患者さんにとって足の傷→潰瘍→壊死→切断とならないために大切なことです。糖尿病を患っていなくても、乾燥にひび割れ、靴ずれ、タコ・ウオノメ、巻き爪、水虫、外反母趾、浮腫などのトラブルを抱えている人も多いのではないでしょうか。正しいフットケアを行うことは、足のトラブル予防や改善・転倒予防に繋がります。足をよく見る、丁寧に洗う、深爪しない、足に合う靴を履くことが大切です。

糖尿病療養指導士 小林 理恵子

